

## 訪問指導の 大切さ訴え

新生病院・北村氏

新生病院歯科口腔外科の北村豊氏は7月16日、須坂市の旭ヶ丘ふれあいプラザで開いた須坂市地域ケア会議（山上茂明委員長）で、「要介護者の歯と口の健康―口腔ケアの重要性とその基礎―」と題して講演した。北村氏は、集まった約40人のケアマネージャーらに「歯科衛生士訪問指導を継続して実施することで

効果が上がり、歯科疾患の早期発見や発生、進行の予防につながる」と訪問指導の重要性を訴えた。

北村氏は、要介護者の口腔ケアについて「食事や排泄などが生活上の基本的ケアとして優先されるべきで、口腔ケア

がおろそかになりがち」と指摘。不潔な義歯から生じやすい口腔カンジタ症は、放置すると食道や気管支、肺、心内膜などに波及し、深在性カンジタ症となつて死に至るケースもある、と注意を促した。



嚥下性肺炎の予防につ

いては、歯科疾患の治療を行い口腔環境の整備をすること、口腔清掃の励行を挙げ、「食後2時間は、坐位やフアーラー位にして、胃の内容物が十二指腸から下へ移動するまで逆流するのを防止するように」と述べた。